

株式会社さくら都市総合研究所

主 席 清水 秀幸
研究員19 縮小する社会と地方
都市の将来像

また、人口減少する
という前提の中で、い
ま各自治体は持続可能
な財政運営を念頭に、
隣接する自治体同様に

ライフラインを中心と
する大型施設を連合し
て建設、共有する取り
組みにシフトを始めて
いる。須坂市も千曲市
も例外ではない。片や
そうしながらも、商圏
人口50万人規模を唱う
巨大商業施設が進出し
易くするために、あら
ゆる条件整備を駆使し
てその実現に邁進して
いる。それによって両
市はもとより、隣接す
る市町村の商店、企業、
まちそのものがどう影
響を被るか、そして
隣接する都市構造や商
業構造はどう影響を受
けるのか。両市にとつ
ては、そんなことは折
り込み済みだと思っ
たが……。

こうした動きの最

中、9月10日の信濃毎
日新聞朝刊のトップ記
事に「イトーヨーカド
ー長野店来年6月7日
をもって閉店」という
衝撃的な記事が躍った。
朝、新聞を見て驚い
た読者も少なからずい
たものと思うが、筆者
自身は、セブン&アイ
ホールディングスが2
015年9月に発表し
た縮小計画（20年2月
期までに全国全店舗を
対象に、その2割40店
舗を閉鎖、撤退する計
画）を承知していたの
で、さして驚きはしな
かった。むしろ、ピー
ク時には100億円台
の売上げを計上してい
た店舗が漸減を続け、
ここ数年はその5分の
1程度まで急落してい
たにも拘らず、よくこ
こまで頑張ったものだ
という感心の方が強か
ったというのが偽らざ
る印象である。

清水 秀幸氏（しみ
ずひでゆき）1952
年長野市生まれ、76年
明治大学政経学部政治
学科卒。2013年6
月株式会社守谷商會役
員を退任し、同年7月
株式会社さくら都市綜
合研究所を設立。長野
市都市計画審議会専門
委員ほか3委員、その
他各地方自治体の審議
員・部会員を兼任。現
在、同研究所社長。



閉店方針が衝撃を与えたイトーヨーカドー長野店